



津山でもっとも古い病院建築

旧中島病院本館



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	きゅうなかしまびょういんほんかん
所在地	津山市田町
指定年月日	平成22年9月10日
解説	大正6年(1917)に建てられた、津山でもっとも古い病院建築。木造2階建て、延べ床面積244平方メートル。ポーチの円柱にあるコリント式の柱頭飾りや窓の飾り枠などに、凝った洋風意匠が見られる。東京帝大医科大学を卒業後、地元の要望により帰郷した中島病院2代目の中島琢之を郷里に引き留めるため、銀行家・妹尾順平が先頭となって建築させたものである。
アクセス方法	JR津山駅から徒歩約15分
公開状況	[開館]9～17時 [休館]毎週月曜日(祝日の場合は翌日) [問い合わせ先]0868-22-8688
設備	トイレ  駐車場 
備考	多くの市民の要望により保存されることとなり、所有者から津山市に建物が寄贈され、まちづくりに活用するための施設となりました。平成21年から「城西浪漫館」の愛称で、喫茶室、貸しギャラリー、中島病院の歴史を振り返る展示室として、一般に公開されています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	旧中島病院本館
よみかた	きゅうなかしまびょういんほんかん
しょざいち (所在地)	津山市田町
していつひ (指定した日)	平成22年9月10日
せつめい	津山市(つやまし)でもっとも古い病院(びょういん)の建物(たても)です。大正時代(たいしょうじだい)に建(た)てられました。玄関(げんかん)ポーチの円柱(えんちゅう)や窓(まど)の飾(かざ)り枠(わく)などに、洋風(ようふう)のデザインがめぐらされています。今では「城西浪漫館(じょうさいろまんかん)」という名前で、市民のための喫茶室(きっさしつ)や展示室(てんじしつ)として使われています。